

科目名称:生活とところとからだ					
担当者名:三輪 早苗					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年後期	講義	選択	2	社会福祉学科(2)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		14204351
授業概要:生理学と心理学Ⅰを踏まえ、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心理、人体の構造と機能について学修した後、日常生活の場面に応じたところとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学修します。					
到達目標:1. 人間の心理及び人体の構造と機能に関する基礎的な知識を習得する。 2. 日常生活の場面(身じたく、移動、休息・睡眠)に関連したところとからだのしくみを理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回	ところのしくみ①	人間の欲求、自己概念、自己実現	「心理学」の学習内容を復習する(30分)。人間の欲求や自己概念についてまとめる(30分)。		
第2回	ところのしくみ②	脳のしくみ、学習・記憶・思考・感情・認知のしくみ	「脳」のしくみについて学習してくる(30分)。学習、記憶、感情、認知のしくみについてまとめる(60分)。		
第3回	ところのしくみ③	意欲・動機づけのしくみ、適応のしくみ	意欲や学習の動機づけについてネットで調べてくる(30分)。動機づけや適応のしくみをまとめる(30分)。		
第4回	からだのしくみ①	心身の調和、身体の部位の役割	「生理学」の学習内容を復習する(30分)。日常生活から心身の調和について体験からまとめる(60分)。		
第5回	からだのしくみ②	恒常性	恒常性について調べてくる(30分)。例を示しながら恒常性をまとめる(30分)。		
第6回	からだのしくみ③	生体防御のしくみ	生体防御を調べてくること(30分)。例を示しながら生体防御についてまとめる(30分)。		
第7回	からだのしくみ④	バイタルサイン	バイタルサインについて調べてくる(30分)。安静時の家族のバイタルサインを測定しまとめる(60分)。		
第8回	移動に関連したところとからだのしくみ①	移動行為の意義、活動意欲、骨格・筋・関節・神経の構造と機能	事前に起床時の心身の変化を観察し、レポートを作成すること(60分)。買い物と移動の例からところとからだのしくみをまとめる(60分)。		
第9回	移動に関連したところとからだのしくみ②	重心移動とバランス、姿勢・体位保持・歩行のしくみ	事前に立ち上がり・歩行する時の身体の動きを観察し、レポートを作成する(60分)。重心移動が必要な姿勢、体位をまとめる(30分)。		
第10回	移動に関連したところとからだのしくみ③	機能低下や障害が移動に及ぼす影響と変化の気づき	移動に関連する心身機能の低下を調べてくる(30分)。機能低下と移動への影響をまとめる(30分)。		
第11回	移動に関連したところとからだのしくみ④	関連する障害・疾病(骨折、廃用症候群、褥瘡、麻痺等)	関連する障害・疾病(骨折、廃用症候群、褥瘡、麻痺等) テキストを予習する(30分)。高齢者に多い骨折や廃用症候群をまとめる(60分)。		
第12回	身じたくに関連したところとからだのしくみ①	身じたくの意義、感覚器・口腔・爪の構造と機能 口腔清潔の意義と口臭のしくみ	事前に自分が行っている身じたくの行為及び使った身体部位・臓器を調べる(60分)。身じたくの必要性と意義についてまとめる(30分)。		
第13回	身じたくに関連したところとからだのしくみ②	機能低下や障害が身じたくに及ぼす影響と変化の気づき 関連する障害・疾病(歯周病、視覚障害、関節拘縮など)	機能低下が身じたくに影響する理由を調べてくる(30分)。事例を通して機能低下と身じたくの関連をまとめる(30分)。		
第14回	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ①	休息・睡眠の意義、睡眠時間・リズム、睡眠のしくみ	事前に入眠前・起床時の自分の心身の状態を観察し、レポートを作成する(60分)。睡眠時間と睡眠リズムをまとめる(30分)。		
第15回	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ②	機能低下や障害が休息・睡眠に及ぼす影響と変化の気づき 関連する障害・疾病	機能低下と睡眠の関連について調べてくる(30分)。機能低下が急速・睡眠に影響する内容をまとめる(30分)。		
履修に必要な予備知識や技能:履修に必要な予備知識や技能:「生理学」「心理学Ⅰ」の科目を履修し、授業に臨んでください。また、本科目と同時に「ところとからだのしくみ」を履修してください。					
課題に対するフィードバック:準備学習として取り組んだレポートの内容を踏まえて授業を展開します。提出された課題やワークシートは、次回以降の授業で返却します。					
評価方法・基準:定期試験 85%、課題 10%、受講態度(授業への参加度)5%					
教科書:最新介護福祉士養成講座 11「ところとからだのしくみ」第2版 中央法規出版。参考書は授業中に適宜紹介します。					
備考:介護福祉士養成における必須科目です。介護福祉士資格取得を目指す人は必ず受講してください。					
実務経験の内容・期間:看護師(8年)					